

第 63 巻の広告掲載会社名および商品名

アステラス製薬 (株)		中外製薬 (株)	アバステチン
第一三共 (株)	ネキシウム	(株) ジェイ・エム・エス	
興和創薬 (株)	グラナテック	大塚製薬 (株)	
大塚製薬工場 (株)	ビーフリード	田辺三菱製薬 (株)	カナグル
武田薬品工業 (株)		(株) ツムラ	ツムラ六君子湯
(株) ヤクルト本社			

(ABC 順)

編集委員会

編集委員長：杉 山 篤

編集委員：石 井 良 和

島 田 英 昭

津 熊 久 幸

伊 豫 田 明 三 上 哲 夫

周 郷 延 雄 高 橋 寛

瓜 田 純 久 (ABC 順)

編集後記

2016年3月の本誌には、退職される教授の略歴と送辞が5編ずつ掲載され、ボリューム満点となっています。One decade 後輩のわれわれにとって、背中で指導して下さった先生方が退職されるのは、誠に感無量です。是非、最終講義と併せてお読み頂ければ幸いです。

英文誌として創刊して1年が経過した Toho Journal of Medicine は、徐々に投稿論文が増えてきました。今回は総説1編、原著2編、症例報告3編が掲載されております。症例報告はいずれも知恵を絞って懸命に治療した成果であり、現場の汗を感じ取ることができます。原著の1編は自然科学と臨床医学を融合させた挑戦的論文です。他の1編は外科治療を困難にさせる抗血栓療法患者の合併症を詳細に検討した力作です。糖尿病・代謝・内分泌科の弘世教授の総説もあり、魅力的な内容になったと自負しています。

4月には新入生を迎えます。彼らを見て、医学部を志したマインドを振り返る方も多いのではないのでしょうか？「何でも診たい、治したい」というマインドは医師を志す原点ですが、近年、原点が大きく揺らいでいるように思えます。患者さんの要求も多様化し、想定外のトラブルを回避する意識も働き、専門領域の中でも、最も自信のある疾病のみを診療するケースが少なくありません。2016年、新専門医制度運用が開始されますが、専門医資格を取得しても、

患者さんが受診してくれなくては社会に貢献できず、自分のためだけの専門医となってしまいます。大きく変化する社会ニーズに応え、「診て欲しい」と言われる専門医を育成できる医育機関として、本学も進化しなければならないのかもしれませんが、100周年に向けて原点を見つめ直すとともに、決意を新たに、そして退職される先輩の思いを胸に、謙虚に着実に進化していきたいものです。退職される先生方には、今後も重ねてご指導頂きたく、お願い申し上げます。ありがとうございました。

(瓜田純久)

東邦医学会雑誌 第63巻 第1号

平成28年3月1日発行

編集兼
発行人 杉 山 篤〒143-8540 東京都大田区大森西5丁目21番16号
東邦大学医学メディアセンター内

東邦大学医学会

(振替口座 00190-6-95793)

tel. 03-3762-4151 ex. 2465/fax. 03-3762-5077

e-mail: igakukai@med.toho-u.ac.jp

http://tms.med.toho-u.ac.jp

東京都北区西ヶ原3-46-10

株式会社 杏林舎